

至自至自								昭	昭	年
9	9	9	9	8	8	8	3	5	4	
16	13	11	11	31	20	15	9	27	10	
<p>「ポートワニー」經由入「ソ」</p> <p>隊長 大尉 平井雄三</p> <p>択捉島出発</p> <p>択捉島第一、第二作業大隊に編入</p> <p>択捉島において武装解除</p> <p>停戦</p> <p>日「ソ」開戦</p> <p>主力は旅団戦闘司令部の構築作業、一部天寧棧橋作業に従事</p>								<p>軍令陸甲第四一号により編成下令</p> <p>択捉島において独立混成第四三旅団工兵隊編成完結</p> <p>爾後同島付近の整備、陣地構築に従事</p> <p>軍令陸甲第三四号編成改正により第八九師団新設と同時に混成第三旅団工兵隊と改称</p>		<p>概要</p>
								<p>軍令陸甲第四一号により編成下令</p> <p>択捉島において独立混成第四三旅団工兵隊編成完結</p> <p>爾後同島付近の整備、陣地構築に従事</p> <p>軍令陸甲第三四号編成改正により第八九師団新設と同時に混成第三旅団工兵隊と改称</p>		

混成第三旅団工兵隊略歴
 (独立混成第四三旅団工兵隊)
 通称号權第一二六四六部隊

		昭 20			昭 19			年			
		9	9	8	8	8	5	4	月		
		16	13	11	29	15	9	27	10	12	日
<p>隊長 大尉 岡野猛夫</p>		<p>混成第三旅団通信隊略歴 (独立混成第四三旅団通信隊) 通称号權第一二六四七部隊</p>									
		<p>概要</p> <p>軍令陸甲第四一号により編成下令 択捉島において独立混成第四三旅団通信隊編成完結 爾後天寧地区において島外(東ウルツプ島、西ウルツプ島、色古丹島)島内、 各大隊司令部間の連絡 軍令陸甲第三四号編成改正により第八九師団新設と同時に混成第三旅団通信隊 と改称 日「ソ」開戦 停戦 択捉島天寧において武装解除 択捉島第二作業大隊に編入 択捉島出発 「ポートワニー」經由入「ソ」</p>									
		<p>摘要</p>									

1011の2

9 9

16 13

択捉島出発

「ポルトワニ」經由入「ソ」

隊長

大尉

神崎

謙

吉

0880

		昭 20	昭 19	年	混成第四旅団司令部略歴 (独立混成第六九旅団司令部) 通称号 摧第一二六〇九部隊
		3	8	月	
		27	30	日	
9	9	9	9	8	8
15	9	8	1	15	9
<p>軍令陸甲第一〇一号により編成下令 色丹島において独立混成第六九旅団編成完結 爾後色丹島において兵舎建築、陣地構築に従事 軍令陸甲第三四号編成改正により第八九師団新設と同時に混成第四旅団司令部と改称 日「ソ」開戦 北海道転進命令をうけ準備中停戦 色丹島において武装解除 色丹島第四作業大隊に編入 色丹島出発 「ポートワニー」經由入「ソ」</p> <p>司令官 少将 土井定七</p>					
					概要

0881

昭 20					昭 20			昭 19			年 月 日	独立歩兵第四二一大隊略歴 (独立混成第六九旅団独立歩兵第四二一大隊) 通称号 摧第一二六二三部隊
9	9	9	8	8	6	6	5	3	8	7		
3	4	3	15	9	4	1	25	27	31	29		
陣地構築中停戦 主力(在志発島) 志発島において武装解除 志発島第七作業大隊に編入 志発島出發、同日国後島上陸					日「ソ」開戦 ✓第二中隊色丹島へ進駐 ✓第三中隊多楽島へ進駐 ✓第四中隊勇留島守備のため同島に進駐			軍令陸甲第一〇一号により編成下令 志発島において独立混成第六九旅団独立歩兵第四二一大隊編成完結 軍令陸甲第三四号編成改正により第八九師団新設と同時に混成第四旅団独立歩兵第四二一大隊と改称			概	要
											摘要	

0882

昭 20			昭 20			昭 20			昭 20		
9	9	9	9	9		9	9	9	9	9	9
9	8	8	8	4		15	11	9	8	1	
<p>樺太大泊にて大隊主力と合流</p>			<p>多架島出発、爾後大隊主力と合流</p>			<p>第三中隊（在多架島）</p>			<p>第二中隊（在色丹島）</p>		
<p>勇留島出発</p>			<p>多架島において武装解除</p>			<p>「ソフガワニー」上陸入「ソ」</p>			<p>「ソフガワニー」上陸入「ソ」</p>		
<p>勇留島において武装解除</p>			<p>第四中隊（在勇留島）</p>			<p>大泊寄港</p>			<p>穴澗港出帆</p>		
<p>隊長</p>			<p>大尉</p>			<p>佐藤</p>			<p>政美</p>		

0883

				昭 20		昭 19		年 月 日	概 要	
9	9	9	8	6	5	3	7			7
9	8	2	15	上旬	下旬	27	31			29
<p>国後島出帆</p> <p>国後島において第六作業大隊に編入</p> <p>主力は国後島白柏泊において武装解除</p> <p>停戦</p> <p>陣地構築に従事</p>				<p>色丹島に転進し混成第四旅団砲兵隊長の指揮下に入る</p> <p>本部、第二中隊、第四中隊、機関銃中隊（二ヶ小隊）は引続き国後島の警備及陣地構築に従事</p>		<p>兵第四二二大隊と改称</p> <p>軍令陸甲第三四号編成改正により第八九師団新設と同時に混成第四旅団独立歩兵第四二二大隊と改称</p>		<p>爾後同島付近の警備及陣地構築に従事</p> <p>国後島において独立混成第六九旅団独立歩兵第四二二大隊編成完結</p> <p>軍令陸甲第一〇一号により編成下令</p>		<p>独立歩兵第四二二大隊略歴</p> <p>（独立混成第六九旅団独立歩兵第四二二大隊）</p> <p>通称号擢第一二六二四部隊</p>
								摘 要		

0884

昭 22		昭 20					
8	9	9	9	9	9	9	
16	6	16	9	5	1	15	
<p>国後島出帆、樺太大泊着</p> <p>隊長 少佐 松野直司</p>		<p>「ポートワニー」經由入「ソ」</p> <p>第三中隊、磯関銃中隊は大浜少佐の指揮する作業大隊に編入され色丹島、国後島において作業に従事</p> <p>色丹島出帆</p> <p>第一中隊は鈴木大尉の指揮する作業大隊に編入</p> <p>色丹島において武装解除</p> <p>色丹島所在部隊</p>					<p>「ポートワニー」經由入「ソ」</p>

				昭 20	昭 19	年
				3	8	月
				27	31	日
9	9	9	8	27	31	29
15	8	1	15			
<p>隊長 大尉 田中 耕治</p>				<p>軍令陸甲第一〇一号により編成下令 色丹島において独立混成第六九旅団独立歩兵第四二三大隊編成完結 軍令陸甲第三四号編成改正により第八九師団新設と同時に混成第四旅団独立歩 兵第四二三大隊と改称 停戦まで色丹島において陣地構築、警備に従事 色丹島穴湊において武装解除 色丹島第一、第二、第三、第四作業大隊等に編入 「ポートワニー」経由入「ソ」</p>		
				<p>概要</p>		
				<p>要</p>		
				<p>摘要</p>		

独立歩兵第四二三大隊略歴
 (独立混成第六九旅団独立歩兵第四二三大隊)
 通称号擢第一二六二五部隊

0886

					昭 20	昭 19	年	
					3	8	7	
					27	31	29	
					9	9	9	
					9	8	8	
					15	9	1	
					15	15	15	
					9	9	9	
					9	8	8	
					15	9	1	
					15	15	15	
<p>「ポートワニー」經由入「ソ」</p> <p>色丹島出発</p> <p>色丹島第五作業大隊に編入</p> <p>色丹島において武装解除</p> <p>停戦まで色丹島において陣地構築に従事</p> <p>立歩兵第四二四大隊と改称</p> <p>軍令陸甲第三四号編成改正により第八九師団新設と同時に独立混成第四旅団独立歩兵第四二四大隊と改称</p> <p>軍令陸甲第一〇一号により編成下令</p> <p>色丹島において独立混成第六九旅団独立歩兵第四二四大隊編成完結</p> <p>隊長 大尉 高木 禎之</p>					<p>独立歩兵第四二四大隊略歴</p> <p>(独立混成第六九旅団独立歩兵第四二四大隊)</p> <p>通称号 第一二六二六部隊</p>			概
					要			
					摘要			

				昭 20	昭 19	年 月 日	混成第四旅団砲兵隊略歴 (独立混成第六九旅団砲兵隊) 通称号 第一二六二七部隊	
				3	8			7
9	9	9	9	27	31			29
11	9	8	1	✓			軍令陸甲第一〇一号により編成下令 色丹島において独立混成第六九旅団砲兵隊編成完結 軍令陸甲第三四号編成改正により第八九師団新設と同時に混成第四旅団砲兵隊と改称 本部、第一、第三中隊は色丹島、第二中隊は国後島に駐屯し陣地構築、警備に従事 色丹島において武装解除 色丹島第一作業大隊に編入 色丹島出発 大泊経由入「ソ」	
隊長 少佐 鏡 清 次								
							概要	

0888

至自		昭 20	昭 19	年
9	9 9 9 9	3	8	月
15	9 8 1 1 15	27	30	日
<p>隊長 中尉 幸田真市</p>		<p>軍令陸甲第一〇一号により編成下令 色丹島において独立混成第六九旅団通信隊編成完結 軍令陸甲第三四号編成改正により第八九師団新設と同時に混成第四旅団通信隊と改称</p>		<p>混成第四旅団通信隊略歴 (独立混成第六九旅団通信隊) 通称号 摧第一二六二八部隊</p>
		<p>日「ソ」開戦 停戦まで第八九師団隷下各隊との無線網の構成、色丹島の有線通信網の構成 色丹島穴澗において武装解除 色丹島において第一、第六、第七各作業大隊に編入 穴澗出発 「ポートワニー」經由入「ソ」</p>		
				摘要

		昭 20	昭 19	年	
		3	8	月	
		27	31	日	
		8	8	9	9
		1	15	8	9
		9	9	14	9
隊長 中尉 山口 謹 二	<p>「ソフガワニー」上陸</p> <p>穴澗出発</p> <p>色丹島第一作業大隊に編入</p> <p>色丹島において武装解除</p> <p>爾後停戦まで色丹島において陣地構築に従事</p> <p>日「ソ」開戦</p> <p>と改称</p> <p>軍令陸甲第三四号編成改正により第八九師団新設と同時に混成第四旅団作業隊</p> <p>色丹島において独立混成第六九旅団作業隊編成完結</p> <p>軍令陸甲第一〇一号により編成下令</p>	<p>混成第四旅団作業隊略歴</p> <p>(独立混成第六九旅団作業隊)</p> <p>通称号催第一二六二九部隊</p>	<p>概要</p>	<p>摘要</p>	

昭和20												年	
9 9 9 8				8 8 8				4 4 3 2					月
22 18 13 30				15 9				21 17 27 28					
<p>第八九師団通信隊略歴</p> <p>通称号 摧第二三〇〇三部隊</p>												概要	
<p>軍令陸甲第三四号により編成下令</p> <p>北海道帯広において第七師団の隷下部隊からの差出人員を基幹として編成完結</p> <p>花咲港出帆</p> <p>択捉島天寧上陸</p> <p>爾後同島において兵舎構築、通信壕、通信所建設、陣地構築作業に従事</p> <p>日「ソ」開戦</p> <p>停戦</p> <p>択捉島天寧において武装解除</p> <p>択捉島水野健作、作業大隊に編入</p> <p>択捉島出発</p> <p>「ポートワニー」經由入「ソ」</p>													摘要
<p>隊長 少佐 水野健作</p>													

昭 20										年	第八九師団兵器勤務隊略歴 通称号權第二三〇〇六部隊
9	9	9	8	8	8	5	5	3	2	月	
16	13	1	30	15	9	16	12	27	28	日	
<p>軍令陸甲第三四号により編成下令 北海道札幌において第七師団の隷下部隊からの差出人員を基幹として編成完結 根室港出帆 択捉島天寧に上陸 爾後兵器修理、陣地構築作業に従事 日「ソ」開戦 停戦 択捉島天寧飛行場において武装解除 択捉島第一作業大隊に編入 択捉島出発 「ポートワニー」經由入「ソ」</p>										概 要	摘要
<p>隊長 少佐 平田孝一郎</p>											

0892

至 自												昭 20	年	第八九師団衛生隊略歴 通称号 摧第二三〇〇九部隊
9	9	9	9	9	8	8	8	5	5	5	3	2	月	
1	23	19	16	13	30	15	9	14	6	上旬	27	28	日	
<p>一部色丹島所在部隊は色丹島穴澗において武装解除</p> <p>「ポートワニー」經由入「ソ」</p> <p>択捉島出発</p> <p>択捉島所在部隊は同島天寧において武装解除</p> <p>択捉島庄司清司、三原録郎各作業大隊に編入</p> <p>停戦</p> <p>日「ソ」開戦</p> <p>爾後同島において患者療養所を開設及道路構築、糧秣運搬等に從事</p> <p>根室出発</p> <p>帯広発根室着</p> <p>北海道帯広において第七師団の隷下部隊からの差出人員を基幹として編成完結</p> <p>軍令陸甲第三四号により編成下令</p>												概	要	
													摘	要

		9	9
		15	9
			8
			色丹島第三作業大隊に編入
			色丹島出発
			「ポートワニー」經由入「ソ」
	隊長		
	中佐		
	庄司		
	清治		

昭 20				昭 23			昭 22		昭 23		昭 22			
9	9	9	9	7	7	12	9	7	7	10	9	8	9	
15	9	8	1	31	18	31	2	31	19	1	3	24	17	
色丹分院 色丹島色丹分院において武装解除 色丹島第四作業大隊に編入 穴澗出発 「ポートワニー」經由入「ソ」				真岡出帆帰還			古屯第二八作業大隊に編入、伐採作業 古屯出発		一部古屯到着		真岡出帆帰還		同所出発 同所に病院開設、日本将兵入院患者の診療に任ず	
									西海岸留久志到着		同所出発、樺太大泊上陸		択捉島天寧に集結、第五一作業大隊に編入 作業大隊内に病院を開設、日本将兵の収療に任ず	

1023の3

	昭 21		昭 20	
	1	12	11	8
	3	31	3	23
	幌 須 分 院 択捉島幌須分院において武装解除 留別において森田作業大隊に編入 同地出発 「ウラヂオ」上陸入「ソ」			
病院長				
大佐				
跡部				
鉄郎				

0897

昭 20					昭 18					年
8	8	8	8	8	8	7	7	7	6	年
25	16	15	14	9	2	30	25	24	24	日
特設警備第三二二一中隊略歴 通称号 推第二二九一部隊										
概 要										
<p> 軍令陸甲第五八号により編成下令 旭川において編成完結 常置人員 将校三名、下士官五名 根室港出帆 択捉島上陸 爾後同地付近の在郷軍人を短期間教度にわたり教育召集 日「ソ」開戦 警備召集実施、戦闘配備待機中 停戦 停戦と同時に留別、沙那、入里節の各小隊の警備召集者召集解除 部隊解散 </p>										
中隊長 大尉 能 登 定次郎										
摘要										

昭 20							昭 18			年	
9	9	8	8	8	8	4	8	7	7	6	月
8	2	19	18	15	9	頃	2	30	25	24	日
<p>特設警備第三二三中隊略歴 通称号摧第二二九二部隊</p>											
<p>概要</p>											
<p>軍令陸甲第五八号により編成下令 旭川において編成完結 常置人員 将校二名、下士官四名 根室港出帆 国後島上陸、同島の警備 爾後同地付近の在郷軍人を短期間教度にわたり教育召集 より遂次警備召集実施 日「ソ」開戦 停戦 全員現地において解散 部隊解散せるも常置員幹部は中隊長の命により再度集合 国後島において武装解除 国後島出帆</p>											
<p>摘要</p>											

	9
	10
	「ソフガワニ」上陸
	中隊長
	中尉
	石黒
	武

昭 23	昭 22	昭 22	昭 21	昭 20	昭 18	年	特設警備第三二四中隊略歴 通称号推第二二九九部隊
8	8	6	9	8	8	月	
26			1	15	9	日	
<p>軍令陸甲第五八号により編成下令 旭川において編成完結 常置人員 将校一名、下士官三名 根室港出帆 色丹島上陸 爾後同地付近の在郷軍人を短期間効度にわたり教育召集 日「ソ」開戦、警備召集実施せず 停戦、同時に部隊解散 中隊長（中尉得能源治）は色丹島穴澗において武装解除後「ソ」軍に收容され 雑役に従事 国後島古釜布收容所に移動 樺太気屯に移動 同地出發、真岡を経て帰還</p>							概
<p>中隊長 中尉 得 能 源 治</p>							要
							摘要

第九一師団司令部略歴												
通称号 先第一二六四〇部隊												
略 歴												
年	月		日		略		歴		要		摘要	
昭 20	9	12	12	11	11	9	8	8	8	8	5	4
	2	7	4	24	18	2	24	21	20	9	10	12
	<p>昭 21</p> <p>昭 20</p> <p>昭 19</p> <p>軍令陸甲第四一号により編成下令 北千島幌延島柏原において千島第一守備隊司令部を基幹として編成完結 爾後同地において警備ならびに陣地構築等に従事 日「ソ」開戦 「ソ」軍攻撃のため占守島に前進 幌延島柏原に移動 柏原において武装解除 主力は柏原第一作業大隊に編入（長、少尉栗原万寿夫） 爾後「ソ」軍の作業に従事 柏原出発 真岡到着 真岡出帆 函館港入港 一部将校大隊に編入</p>											

	昭 20
	12 11
	8 30
	柏原出発 「ナホトカ」經由入「ソ」 司令官 中尉 堤 不 爽 貴

昭 昭		昭		昭		昭		昭		年 月 日	略 歴	通称号 先第一二六七三部隊	歩兵第七三旅団司令部略歴
20 21		20		20		20		19					
12	11	1	12	9	8	8	8	5	4				
2	27	17	31	3	23	15	9	10	12				
<p>軍令陸甲第四一号により編成下令 北千島占守島において千島第一歩兵隊を基幹として編成完結 爾後同地において警備 日「ソ」開戦 旅団司令部大観台に前進 占守島三好野飛行場において武装解除 母校大隊（長、大佐桜井階介）および占守島第一五作業大隊（長、中尉赤松福三）に編入 母校大隊は「ソ」連船により占守島出發 「ナホトカ」經由入「ソ」 第一五作業大隊は「ソ」軍船により占守島片岡港出發 「ナホトカ」經由入「ソ」</p> <p>旅団長 少将 杉野 巖</p>										摘要			

0904

至自										昭		年	月	日	略	歴	摘	要		
昭										20									19	
1	12	10	9	8	8	8	5	5	4											
17	4	3	15	8	23	18	9		10	12	<p>通称号 先第一二六八二部隊</p> <p>軍令陸甲第四一號により編成下令 北千島占守島において千島第一歩兵隊を基幹として編成完結 爾後同地付近の警備 第一、第二、第四歩兵砲各中隊の主力は占守島中央部に後退し、本部、第三中隊は国端に残り配備につく 日「ソ」開戦 「ソ」軍武田浜に上陸、本部、第三中隊の主力は四嶺山において、一部は国端崎小泊岬において戦闘 占守島三好野飛行場において武装解除 将校大隊および占守島第五作業大隊に編入 「ソ」連船により占守島出港 「ナホトカ」經由入「ソ」</p>									
隊長 少佐 村上 則重																				

独立歩兵第二八二大隊略歴

0905

昭 19	昭 20	自 8	自 9	至 9	自 10	自 11	至 12	年 月 日	独立歩兵第二八三大隊略歴 通称号 先第一二六八三部隊
4	5	8	8	9	10	11	12	略	
12	10	9	18	23	1	5	17	歴	
<p>軍令陸甲第四一号により編成下令 北千島占守島において千島第一歩兵隊を基幹として編成完結 爾後占守島において道路工事および陣地構築に従事 日「ソ」開戦 「ソ」軍占守島武田浜に上陸 第三中隊国端、第四中隊沼尻、本部第一、第二歩兵砲中隊は大観台四嶺山に出撃 占守島三好野において武装解除 主力は第六作業大隊 一部将校作業大隊に編入 占守島出港 「ナホトカ」經由入「ソ」</p> <p>隊長 少佐 竹下三代治</p>									摘 要

昭和												年	月	日	略	歴	摘 要
至自																	
昭和																	
1	1	10	9	9	8	8	8	8	8	5	4						
17	1	18	16	8	23	21	18	17	9	10	12						
<p>「ソ」軍上陸戦闘開始</p> <p>第三、第四中隊は占守島四嶺山の戦闘に参加</p> <p>占守島三好野飛行場において武装解除</p> <p>占守島において第七作業大隊、一部母校大隊に編入</p> <p>第七作業大隊占守島出発</p> <p>「カリマ」州「マガタン」上陸</p> <p>母校大隊占守島出発</p> <p>「ナホホカ」経由入「ソ」</p>																	
<p>隊長</p> <p>少佐 野口 谷 五 郎</p>																	

独立歩兵第二八四大隊略歴

通称号 先第一二六八四部隊

略 歴

摘 要

0907

至自											昭	昭	年 月 日	独立歩兵第二八六大隊略歴	通称号 先第一二六八六部隊										
											20	19													
12	12	11	9	8	8	8	8	8	8	5	5	4													
6	2	27	10	23	21	20	18	9	10	10	10	12	軍令陸甲第四一号により編成下令	幌筵島において千島第一歩兵隊を基幹として編成完結	爾後同地付近の警備	「カ」号作戦により幌筵島より占守島に転進	別飛地区の警備築城に任ず	日「ソ」開戦	別飛より千歳台へ進出	千歳台より天神山へ前進同地区の守備	大文字山付近まで前進せるも交戦せず	占守島三好野飛行場において武装解除	占守島第八作業大隊を編入	占守島出發	「ナホトカ」經由人「ソ」
														隊長 大佐 桜井 階介	略	歴	摘 要								

昭和										昭和		年 月 日	独立歩兵第二八七大隊略歴	
20										19				通称号 先第一二六八七部隊
12	11	9	12	11	8	8	8	8	5	4	略 歴			
8	30	2	8	30	28	21	18	9	10	12		摘要		
<p>軍令陸甲第四一号により編成下令 北千島幌筵島において千島第一歩兵隊を基幹として編成完結 爾後停戦まで島内において陣内構築に従事 日「ソ」開戦 磐城（幌筵島）陣地守備中「ソ」軍の砲撃を受く 磐城において武装解除北の台飛行場に集合 主力は幌筵島北の台において第二〇作業大隊に編入 柏原発 「ナホトカ」経由入「ソ」 一部将校大隊に編入 柏原出發 「ナホトカ」経由入「ソ」</p> <p>隊長 少佐 高橋 石松</p>														

至 曆昭 20										昭 19	年	歩兵第七三旅団通信隊略歴 通称号 先第一二六七一部隊	
10	10	9	8	8	8	8	8	2	8	5	4		月
18	16	1	23	19	18	9			31	11	12		日
<p>軍令陸甲第四一号により編成下令 編成着手 占守島において千島第一歩兵隊を基幹として編成完結 爾後占守島大観台警備 占守島千歳台警備 日「ソ」開戦 旅団司令部とともに出先各隊との通信連絡、同日夜旅団司令部とともに、主力は 大観台へ北進 旅団司令部とともに主力朝日橋へ転進 国端崎および干場川蔭の間との通信連絡 占守島三好野飛行場において武装解除 主力は占守島第五作業大隊に編入 占守島出発 「マガタン」着入「ソ」</p>												略	
												摘要	

0910

昭和19年		昭和20年		昭和20年		昭和20年		昭和20年	
年	月	日	日	日	日	日	日	日	日
	4	5	8	8	8	8	8	9	10
	12	10	9	22	23	1	16	18	18
<p>歩兵第七三旅団作業隊略歴</p> <p>通称号 先第一七六七二部隊</p> <p>略歴</p> <p>軍令陸甲第四一号により編成下令 幌筵島において千島第一歩兵隊を基幹として編成完結 爾後同島付近の陣地に配備 日「ソ」開戦 千歳台に集結、大観台に移動旅団直轄として司令部の警備 占守島三好野に集結 三好野飛行場において武装解除 占守島第五作業大隊に編入 占守島出発 「マガタン」着入「ソ」</p> <p>隊長 中尉 斎藤 正</p> <p>摘要</p>									

0912

至自												昭		年 月 日	歩兵第七四旅団司令部略歴 通称号 先第一二六七四部隊		
												20	19			略	歴
12	11	10	9	9	8	8	8	8	8	6	5	4	摘要				
8	30	1	26	2	25	23	21	18	9	18	10	12					
<p>浦塩着入「ソ」</p> <p>将校大隊柏原出發</p> <p>「ソフガワニ」着入「ソ」</p> <p>第一七作業大隊柏原出發</p> <p>幌筵島第一七作業大隊及将校大隊に編入</p> <p>幌筵島磐城に集結、武装解除</p> <p>停戦により占守島より幌筵島に帰還</p> <p>「ソ」軍上陸戦闘のため占守島天神山に移駐し作戦指導</p> <p>幌筵島武蔵出發、柏原に転進陣地構築、警備に任ず</p> <p>日「ソ」開戦</p> <p>爾後同島において警備</p> <p>幌筵島において千島第三歩兵隊を基幹として編成完結</p> <p>軍令陸甲第四一号により編入下令</p>												略		歴		摘要	
司令官 少将 佐藤 政治																	

0913

昭和												年	月	日	略	歴	摘要									
昭和21						昭和20		昭和19		12	10							9	8	8	8	8	8	8	8	8
1	1	23	22	21	20	19	18	9	10																	
占守島出發	占守島第九作業大隊に編入	同地において武装解除	占守島三好野飛行場に集結	夜半まで「ソ」軍と対陣	「ソ」軍大観台北側高地に進出	大観台に到り陣地構築	戦	占守島国端に「ソ」軍上陸、大隊は占守島に転進（第二中隊は一日おくれ占守島に転進）長崎上陸、第七三旅団に配属右一線に進出して国端四嶺山南方高地に到り交戦	日「ソ」開戦	爾後同地付近の警備	幌筵島において千島第三歩兵隊を基幹として編成完結	軍令陸甲第四一号により編成下令														

独立歩兵第二八八大隊略歴

通称号 先第一二六八八部隊

略

歴

摘要

0914

103702

	昭 21
	1
	4
	大泊経由入「ソ」 隊長 少佐 橋口俊成

0915

昭 19		昭 20	
年	月	年	月
	4	5	4
	12	10	9
独立歩兵第二八九大隊略歴 通称号 先第一二六八九部隊			
略			
歴			
摘要			
昭 19		昭 20	
4	5	4	5
12	10	9	8
軍令陸甲第四一号により編成下令 幌筵島（乙前）において千島第三歩兵隊を基幹として編成完結、爾後同島付近の警備 「キ」号演習により本部第一、第四歩兵砲中隊は幌筵島より占守島蔭の間へ移動 同地警備、 第二中隊は幌筵島樺里警備 第三中隊は幌筵島乙前に残留 「カ」号演習により本部、第一、第四、歩兵砲中隊は幌筵島烏川地区（中ノ台警備隊と呼称）へ移動、同地警備 第二中隊は大隊本部（烏川）へ復帰 第三中隊は幌筵島墨山へ転進 日「ソ」開戦 「ソ」軍占守島を攻撃、部隊は海上機動をもって占守島へ転進（樺里地区派遣隊第二中隊の二部および乙前残留隊の一部を除く）第一戦部隊として戦闘に参加			

昭	自						昭	昭				
20							20	21				
8	12	11	9	8	8	8	8	1	1	9	8	8
18	8	30	2	28	23	22	18	17	1	8	23	21

樺里地区派遣隊第二中隊の一部は「ソ」軍占守島の上陸のため柏原に前進

樺里地区残留隊

「ナホトカ」經由 入「ソ」

乙前残留隊

鳥川の部隊主力に復帰を命ぜられ鳥川向け出発（到着時すでに部隊主力は占守島に移動していた）

鳥川より柏原を経て磐城に到着

幌筵島磐城において武装解除

幌筵島北ノ台において将校大隊 第二〇作業大隊に編入

柏原出発

「ナホトカ」經由 入「ソ」

（占守島四嶺山東南村鹿右翼）

第三中隊は本隊に追及、旅団の予備隊として占守島天神山に待機

占守島三好野飛行場に後退、同地において武装解除

占守島将校大隊、第一〇作業大隊に編入

占守島出発

「ナホトカ」經由 入「ソ」

108803

	12	11	9	8
	8	30	1	24
				柏原において武装解除
				柏原第三作業大隊の編入
				柏原出發
				「ナホトカ」經由 入「ソ」
				隊長
				少佐 山田徳蔵

0918

自昭 20 19		昭 20							昭 19		年 月 日	独立歩兵第二九一大隊略歴 通称号 先第一二六九一部隊
8 5	10 10	9 8	8 8	8 8	8 8	5 4	4	5	4	略		
7 10	18 16	2 23	19 18	9 10	12	12	10	12	12			
<p>軍令陸甲第四一号により編成下令 幌筵島において千島第三歩兵隊を基幹として編成完結 爾後同地付近の警備ならびに陣地の構築に従事 日「ソ」開戦 占守島国端崎に「ソ」軍上陸 本部、第一中隊、第四中隊、歩兵砲二ヶ小隊は幌筵島より占守島に移動（各中隊若干名残留）戦闘なし 三好野飛行場において武装解除 主力は占守島第七作業大隊に編入 占守島長崎港出帆 「マガタン」上陸 入「ソ」 第二中隊第三中隊歩兵砲一ヶ小隊の行動 幌筵島所任部隊は磐城、村上、等に位置し警備に従事</p>											略	
											摘要	

					昭
					20
		10	9	8	8
		1	26	25	23
					8
					戦備下令全員陣地配備に着く、戦闘なし
					幌筵島磐城において武装解除
					幌筵島第一七作業大隊に編入
					幌筵島柏原港出発
					「ポートワニー」上陸
					隊長
					大尉 浅井秀雄

											昭和		年 月 日	独立歩兵第二九二大隊略歴	
											20	19			通称号 先第一二六九二部隊
10	9	9	8	8	8	8	8	8	8	8	5	4			
1	26	2	25	23	22	21	20	18	9	10	12	略	歴		
<p>「ポートワニー」經由 入「ソ」</p> <p>第四作業大隊幌筵島出發</p> <p>将校大隊</p> <p>主力は幌筵島第四作業大隊</p> <p>に編入</p> <p>幌筵島柏原において武装解除</p> <p>戦闘実施せず</p> <p>占守島長崎に到着、停戦協定成立ただちに幌筵島柏原港に移動</p> <p>大隊は各守備地を出港</p> <p>占守島に移動すべき命令をうけ大隊全員移動準備</p> <p>「ソ」軍占守島に上陸を開始</p> <p>日「ソ」開戦</p> <p>漸後幌筵島および温弼古丹島の守備に任ず</p> <p>北千島幌筵島において編成完結</p> <p>軍令陸甲第四一号により編成下令</p>													摘要		

	12	11
	8	30
	隊長 少佐 吉田 忠信	「ナホトカ」經由 入「ソ」 將校大隊幌筵島出發

至自		昭		昭		年 月 日	独立歩兵第二九三大隊略歴 通称号 先第一二六九三部隊				
		20		19							
12	12	11	9	8	8			5	4		
12	8	27	4	23	22	18	9	10	12	略 歴	<p>軍令陸甲第四一号により編成下令 占守島において千島第三歩兵隊を基幹として編成完結 爾後同地付近の陣地構築および警備 日「ソ」開戦 「ソ」軍武田浜に上陸するや部隊の主力は四嶺山に進出、戦闘に参加、一部及川正面の警備にあたる 占守島三好野に集結 三好野飛行場において武装解除 占守島第一一作業大隊に編入 占守島出発 「ナホトカ」經由 入「ソ」</p> <p>隊長 少佐 数田正外</p>
摘要											

0923

		昭 20		昭 19		年 月 日	略 歴	摘要					
		10	9	9	8				8	8	5	5	4
		6	28	1	23				20	9	10	12	
柏原残置隊の行動		<p>軍令陸甲第四一号により編成下令 幌筵島において千島第三歩兵隊を基幹として編成完結 一部農耕作業員を残置し主力は幌筵島武蔵より同島柏原に移動、通信線ケーブル埋設作業及通信連絡に任ず 日「ソ」開戦 「ソ」軍占守島に上陸するや最少人員を残置し幌筵島内旅団隷下部隊の連絡をなすとともに主力は旅団司令部とともに柏原より占守島に上陸、天神山に移動、通信網構成、戦闘参加 部隊主力は占守島三好野飛行場において武装解除 占守島第一二作業大隊に編入 占守島出発 「ポートワニ」着 入「ソ」</p>											

歩兵第七四旅団通信隊略歴

通称号 先第一二六七五部隊

略歴

摘要

0924

